

警 防 編

車両の配置状況	3 9
消防水利の状況	3 9
消防機材の配置状況	4 0
火災の概要	4 1
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	4 2 ~ 4 3
原因別の出火件数	4 4
火災件数 10 年の推移	4 4
救急の概要	4 5
市町村別の救急状況	4 6
月別、時間別の出場件数	4 7
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	4 8
程度別の搬送状況	4 9
救急出場件数 10 年の推移	4 9
応急手当の普及啓発活動状況	5 0
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 0
救助の概要	5 1
月別、市町村別の出動件数	5 1
発生場所別の出動件数	5 2
事故種別出動件数比率	5 2
出動人員、活動人員	5 3
救助出動件数 10 年の推移	5 3
通信指令系統図	5 4
119 番着信状況	5 5
医療機関案内状況	5 5

用語の定義

建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、高潮、地震等の異常な自然現象に起因する事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故、若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので、救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・資器材等の搬送及びその他上記に分類不能のものをいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消防本部	消防署					合計
			本署	東部分署	西部分署	朝倉出張所	東出張所	
指揮車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポンプ車			1		1			2
化学車			1					1
はしご車			1					1
救助工作車			1					1
司令車				1	1	1	1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
支援車			1					1
その他の車両		3	1					4
合計		4	12	3	4	3	3	29

消防水利の状況

種別 市町村	消火栓	防火水そう		井戸		プール 20t以上	合計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	449	198	30	74	10	13	774
朝倉市 (旧杷木町)	153	63	7		2	4	229
朝倉市 (旧朝倉町)		94	7	18	2	1	122
東峰村	11	56	4			2	73
筑前町	379	273	24	1	1	8	686
合計	992	684	72	93	15	28	1,884

消防機材の配置状況

種 別		配置先					合 計
		本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご	3	1				4
	三連はしご	3		1			4
	空気式救助マット	1					1
	救命索発射銃	1					1
	可搬式ウィンチ	2					2
	マンホール救助器具	1					1
	マット型空気ジャッキ	1					1
	大型油圧スプレッダー	1					1
	エンジンカッター	2	1	1	1	1	6
	ガス溶断器	1					1
	チェーンソー	7	2	2	2	2	15
	大型油圧切断機	1					1
	万能斧	6	1	1	2	2	12
	可燃性ガス測定器	1	1	1	1	1	5
	空気呼吸器	22	4	7	4	4	41
	酸素呼吸器	5					5
	潜水器具一式	6					6
	救命ボート	2					2
	船外機	2					2
	投光器一式	11	1	2	1	1	16
緩降器	3	1	1	1		6	
化学防護服	4					4	
充電式油圧救助器具	2	1	1	1	1	6	
エアテント	2					2	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式	3	1	1	1	1	7
	自動体外式除細動器	4	2	2	2	2	12
	ショックパンツ	2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式	2	1	1	1	1	6
	患者監視装置	2	1	1	1	1	6
	自動心臓マッサージ器	1	1	1	1	1	5
	喉頭鏡・マギール鉗子	3	1	1	1	1	7
	室内紫外線殺菌装置	1					1
	室内オゾン殺菌装置	2	1	1	1	1	6
	紫外線殺菌ロッカー	1	1	1	1	1	5

火災の概要

平成30年中の出火件数は36件で前年より7件の減少となり、これは月平均3件、約10日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると建物火災21件（58.3%）、その他火災11件（30.6%）、車両火災3件（8.3%）、林野火災1件（2.8%）となっています。

損害額は59,914千円で、前年より4,428千円の減少となりました。また、火災により18世帯52人がり災し、死者、負傷者がそれぞれ1人発生しています。

項	目	単位	平成30年	平成29年	比較（▲減）
火災発生件数		件	36	43	▲ 7
内 訳	建物火災	件	21	23	▲ 2
	林野火災	件	1	1	
	車両火災	件	3	6	▲ 3
	その他火災	件	11	13	▲ 2
総損害額		千円	59,914	64,342	▲ 4,428
内 訳	建物損害額	千円	57,900	62,644	▲ 4,744
	（内収容物損害額）	千円	26,217	18,558	7,659
	林野損害額	千円			
	車両損害額	千円	1,488	1,343	145
	その他損害額	千円	526	355	171
建物焼損床面積		m ²	1,346	2,362	▲ 1,016
建物焼損表面積		m ²	358	48	310
林野焼損面積		a	1	5	▲ 4
焼損棟数		棟	33	37	▲ 4
り災世帯数		世帯	18	14	4
り災人員		人	52	44	8
死者数		人	1	1	
負傷者数		人	1	3	▲ 2
一月平均火災件数		件	3.0	3.6	▲ 0.6
出火率		件	4.2	5.0	▲ 0.8
管内人口		人	85,320	85,913	▲ 593

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口）

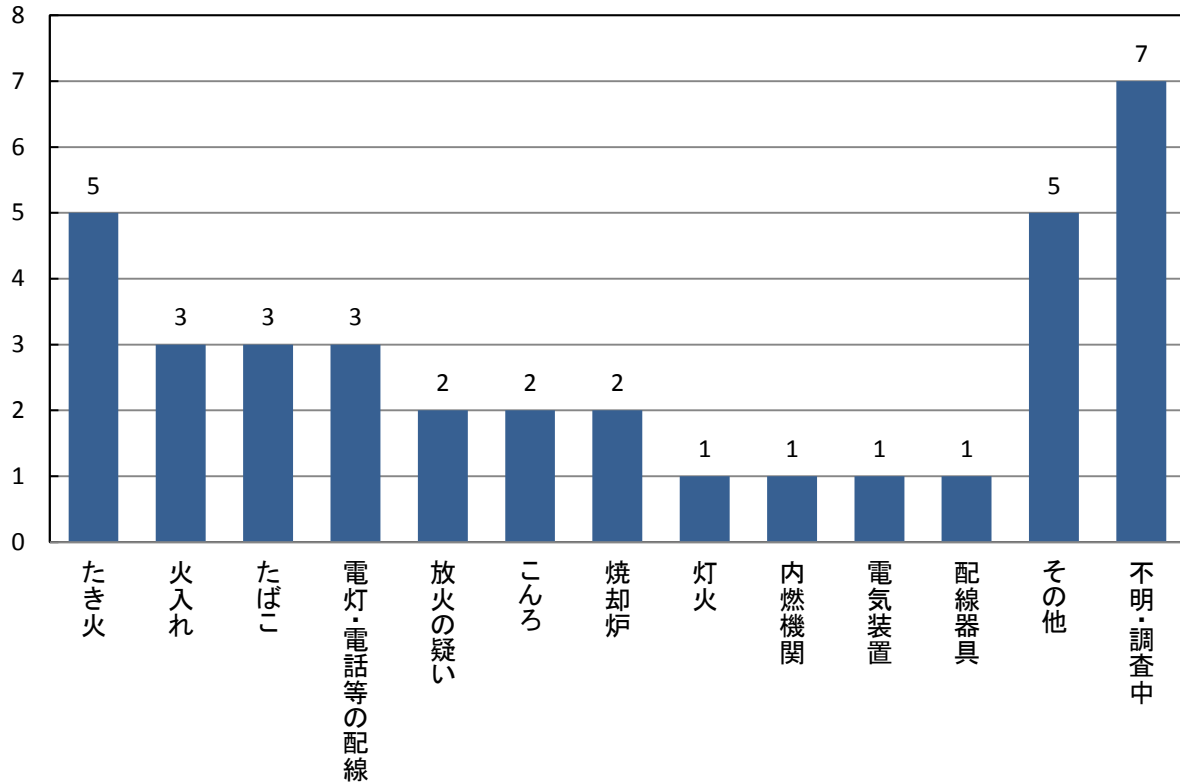
市町村別の火災状況及び月別の火災件数

市町村 月別	項目 年	出火件数					損害額合計 (千円)	建物の損害			
		合計	建物	林野	車両	その他		建物損害額 (千円)	(内収容物損害額) (千円)	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)
朝倉市	29	33	17		6	10	54,196	52,698	16,266	1,652	34
	30	22	12	1	2	7	34,145	33,447	10,674	1,075	133
東峰村	29	3	3				8,867	8,867	2,292	554	8
	30	3	2			1	1,552	1,552	230	97	
筑前町	29	7	3	1		3	1,279	1,079		156	6
	30	11	7		1	3	24,217	22,901	15,313	174	225
合計	29	43	23	1	6	13	64,342	62,644	18,558	2,362	48
	30	36	21	1	3	11	59,914	57,900	26,217	1,346	358
1月		2	1			1	1,034	1,034	30	109	24
2月		1				1	5				
3月		2	1			1	3,261	3,260	887		54
4月		6	5			1	24,677	24,517	15,748	367	196
5月		4	2			2	6,015	5,934	642	169	62
6月		1				1					
7月		5	4		1		23,609	22,459	8,656	695	8
8月		8	5	1	1	1	742	389	152	5	7
9月											
10月		1	1				3	3		1	
11月		6	2		1	3	568	304	102		7
12月											
合計		36	21	1	3	11	59,914	57,900	26,217	1,346	358

林野の損害		車両の損害		その他の損害	焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	死 傷 者	
損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	焼 損 台 数	損 害 額 (千円)	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者
		1,343	6	155	26	10	1	7	8	10	4		6	33	1	3
	1	323	2	375	21	6		10	5	14	4		10	35		1
					8	5		3		3			3	9		
					2	1	1			1		1		6		
	5			200	3	1		2		1			1	2		
		1,165	2	151	10	4	1	3	2	3			3	11	1	
	5	1,343	6	355	37	16	1	12	8	14	4		10	44	1	3
	1	1,488	4	526	33	11	2	13	7	18	4	1	13	52	1	1
					3	1		2		1			1	4		
				5												
				1	1			1		5			5	13	1	
		15	1	145	8	5	1	2		3	1		2	6		
				81	4	1	1	2		3	1	1	1	9		
		1,150	1		8	3		3	2	3	2		1	10		1
	1	303	1	50	6	1		2	3	3			3	10		
					1				1							
		20	1	244	2			1	1							
	1	1,488	4	526	33	11	2	13	7	18	4	1	13	52	1	1

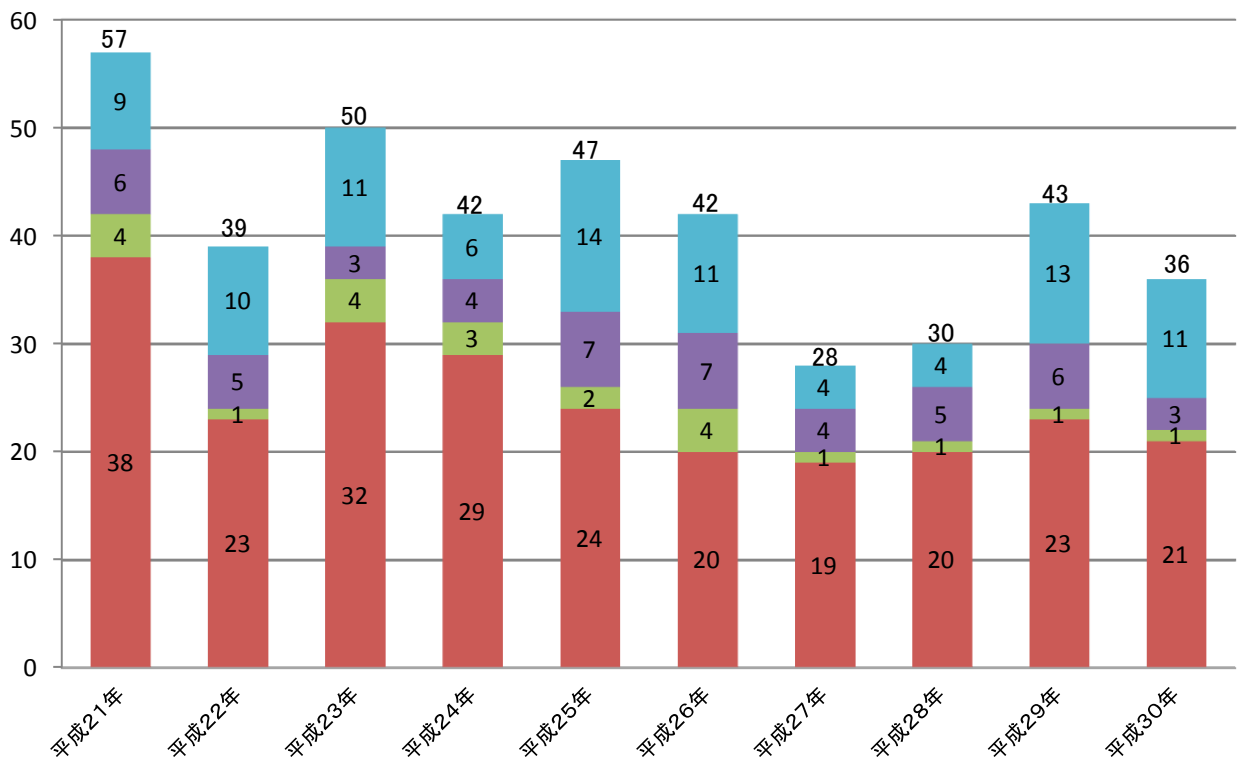
原因別の出火件数

(件)



火災件数10年の推移

(件)



救急の概要

平成30年中の救急出場件数は4,139件で、前年に比べて136件の減少となりました。これは1日平均11.3件（前年11.7件）で約127分に1件の割合で出場し、管内住民約22人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとにみると、急病2,535件（61.2%）、一般負傷633件（15.3%）、転院搬送490件（11.8%）、交通事故310件（7.5%）、その他171件（4.2%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無い為、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項目	単位	平成30年	平成29年	比較（▲減）		
出場件数	件	4,139	4,275	▲ 136		
搬送件数	件	3,870	3,959	▲ 89		
不搬送件数	件	269	316	▲ 47		
出場の件数の内訳	火災	件	1	6	▲ 5	
	自然災害	件	3	45	▲ 42	
	水難	件	1	4	▲ 3	
	交通事故	件	310	366	▲ 56	
	労働災害	件	99	115	▲ 16	
	運動競技	件	27	22	▲ 5	
	一般負傷	件	633	686	▲ 53	
	加害	件	6	12	▲ 6	
	自損行為	件	22	34	▲ 12	
	急病	件	2,535	2,487	▲ 48	
	その他	転院搬送	件	490	492	▲ 2
		医師搬送	件			
		資器材搬送	件			
その他		件	12	6	▲ 6	
搬送人員	人	3,911	3,995	▲ 84		
傷病程度	死亡	人	65	82	▲ 17	
	重症	人	542	613	▲ 71	
	中等症	人	1,945	1,959	▲ 14	
	軽症	人	1,359	1,341	▲ 18	
	その他	人				
1日平均出場件数	件	11.3	11.7	▲ 0.4		
1隊平均出場件数	件	828	855	▲ 27		
救急車利用率	人	管内住民約22人に1人	管内住民約22人に1人			
管内人口	人	85,320	85,913	▲ 593		

（注）人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項目	単位	朝倉市	東峰村	筑前町	管外	合計
出場件数	件	2,732	119	1,277	11	4,139
搬送件数	件	2,577	105	1,178	10	3,870
搬送人員	人	2,601	107	1,192	11	3,911
出場の件数の内訳	火災	件			1	1
	自然災害	件	1		2	3
	水難	件	1			1
	交通事故	件	184	12	104	10
	労働災害	件	65	3	31	
	運動競技	件	14		13	
	一般負傷	件	395	20	218	
	加害	件	3		3	
	自損行為	件	17		5	
	急病	件	1,633	74	827	1
その他	転院搬送	件	413	7	70	490
	医師搬送	件				
	資器材搬送	件				
	その他	件	6	3	3	12
傷病程度	死亡	人	41	2	22	65
	重症	人	389	15	137	1
	中等症	人	1,298	50	593	4
	軽症	人	873	40	440	6
	その他	人				
1日平均出場件数	件	7.5	0.3	3.5	0.03	11.3
各市町村人口	件	53,509	2,128	29,683		85,320

(注) 人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

月別、時間別の出場件数

(単位:件)

種別 月 時間帯	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	416				25	8		64		2	262	53			2
2月	350				20	6	1	49		3	229	41			1
3月	353	1			30	7	3	52			214	44			2
4月	276				20	5	1	44	1		174	30			1
5月	314				36	6	3	55		1	175	38			
6月	281			1	24	3	2	39	1	1	165	44			1
7月	418		3		32	20	5	63		1	247	45			2
8月	393				28	16	2	53		1	237	55			1
9月	310				21	8	2	57		3	186	32			1
10月	329				18	4	4	56	1	4	207	34			1
11月	328				38	7	2	48		2	197	34			
12月	371				18	9	2	53	3	4	242	40			
合計	4,139	1	3	1	310	99	27	633	6	22	2,535	490			12
0～2	153				4	1		21	2		118	7			
2～4	117				3	2		19	2		86	5			
4～6	159				1	2		22		2	125	7			
6～8	271				26	3		45		2	188	5			2
8～10	492				38	12	4	73			307	55			3
10～12	538				41	28	8	67		2	274	117			1
12～14	455			1	29	15	3	66		2	250	88			1
14～16	477	1	2		54	15	6	65		2	249	82			1
16～18	405		1		44	14	2	73			211	59			1
18～20	445				39	5	2	85	1	1	278	32			2
20～22	360				21	1		58		5	259	16			
22～24	267				10	1	2	39	1	6	190	17			1

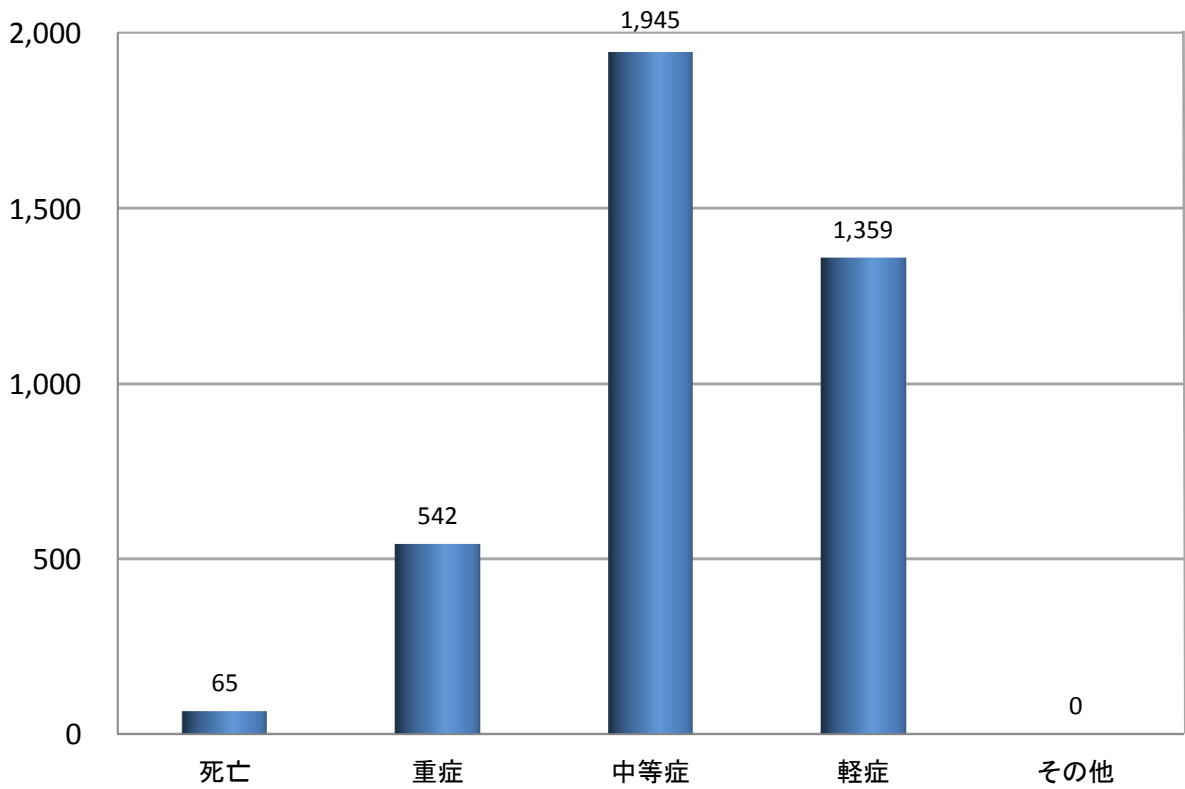
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況

(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	3,911	1			320	96	25	604	6	14	2,354	487			4
年齢区分別	新生児	2										1			1
	乳幼児	165			8			40			107	10			
	少年	137			28		19	28			55	7			
	成人	1,059			185	83	5	76	6	13	576	112			3
	高齢者	2,548	1		99	13	1	460		1	1,616	357			
程度別	死亡	65				3		8		1	52	1			
	重症	542	1		13	8	2	96		2	288	132			
	中等症	1,945			115	51	4	290	3	8	1,151	321			2
	軽症	1,359			192	34	19	210	3	3	863	33			2
	その他														
月別	1月	391			27	8		61		2	240	52			1
	2月	321			19	6	1	46		3	205	41			
	3月	333	1		32	7	3	49			197	44			
	4月	268			22	5		42	2		166	30			1
	5月	303			40	5	3	53		1	163	38			
	6月	271			24	3	2	38	1	1	158	44			
	7月	389			33	19	5	58		1	228	45			
	8月	375			27	15	2	51			224	54			2
	9月	297			25	8	2	54		2	174	32			
	10月	308			18	4	3	54		1	194	34			
	11月	315			37	7	2	47		1	187	34			
	12月	340			16	9	2	51	3	2	218	39			

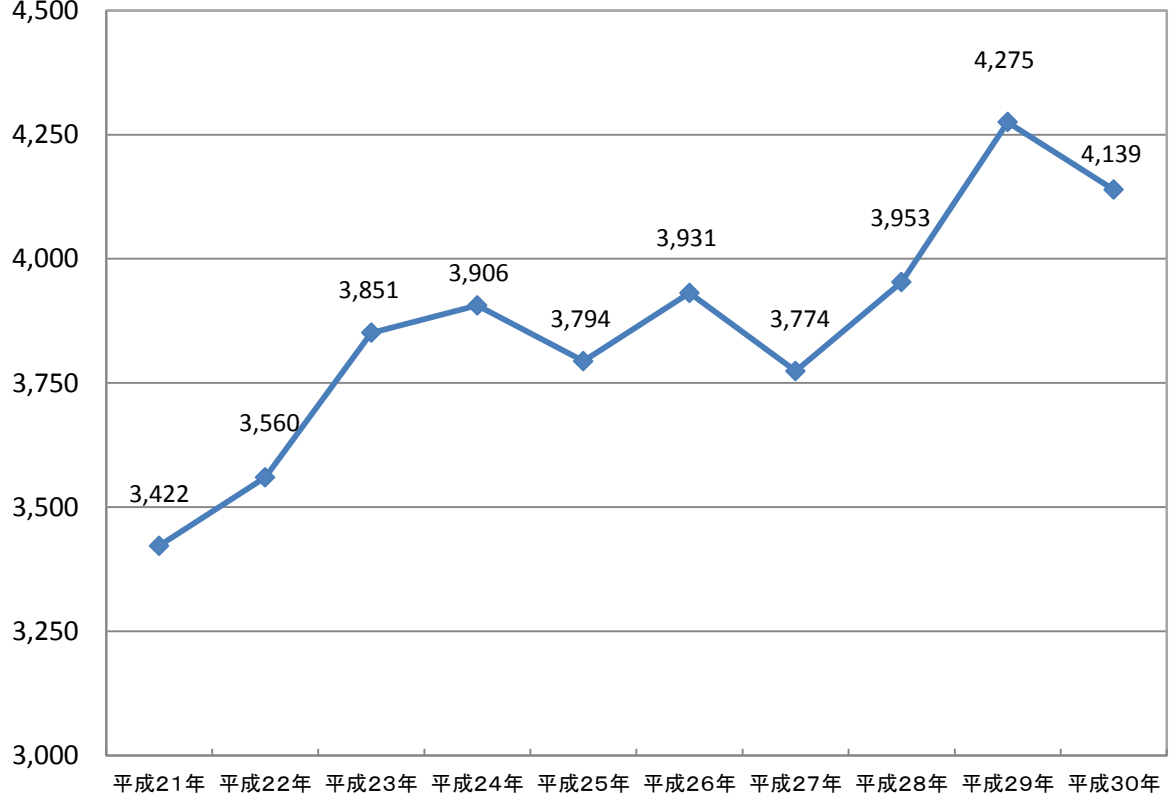
程度別の搬送状況

(人) 2,000



救急出場件数10年の推移

(件) 4,500



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	救命講習			
	講習回数	新規受講者数	再受講者数	合計
平成 16 年	112	2,296	356	2,652
平成 17 年	74	1,280	275	1,555
平成 18 年	83	1,560	249	1,809
平成 19 年	70	1,132	201	1,333
平成 20 年	59	1,138	268	1,406
平成 21 年	33	692	104	796
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
平成 30 年	28	679	33	712
合計	773	15,833	2,288	18,121

※ 過去15年間の新規受講者総数は15,833人で管内住民の約5人に1人が救命講習を受講したことになります。平成29年7月九州北部豪雨の影響のため、平成29年7月から平成30年2月まで救命講習を一時中止しています。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては、応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より、救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

朝倉市	東峰村	筑前町	合計（事業所）
78	13	14	105

平成17年度から平成30年度までに各事業所の協力を得て105事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救助の概要

平成30年中の救助出動件数は62件で、前年より35件の減少となり、事故種別ごとにみると交通事故35件、建物等による事故12件、その他の事故7件、自然災害4件、機械による事故2件、水難事故1件、ガス及び酸欠事故1件となっています。これらの事故で延べ710人の隊員が出動し、32人を救助しました。

事故種別 項目	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
出動件数			35	1	4	2	12	1			7	62	97
出動人員			440	11	36	18	119	9			77	710	905
救助人員			17		5	1	5				4	32	137
出動車両台数			148	4	10	6	39	3			25	235	292

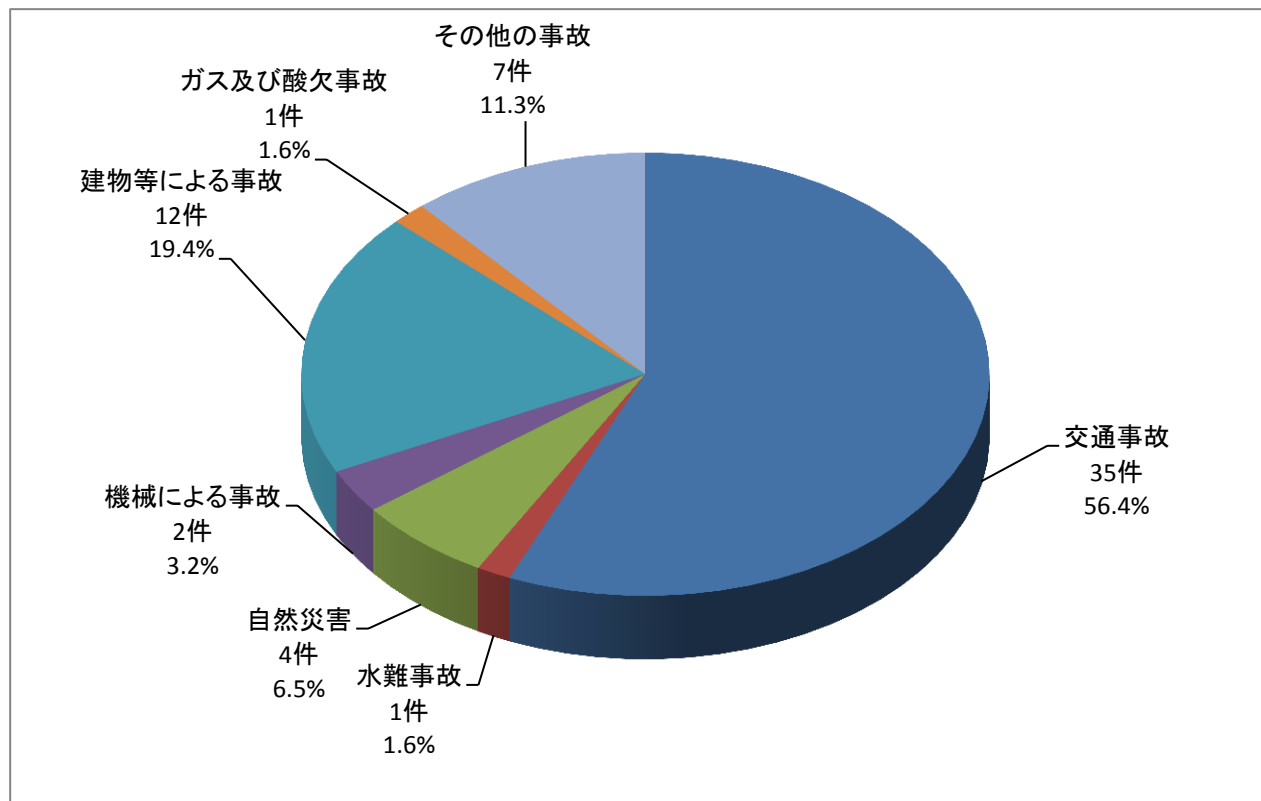
月別、市町村別の出動件数

事故種別 月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
1月			2								1	3	7
2月			6					2			1	9	4
3月			5					1				6	5
4月			2								1	3	8
5月			3									3	6
6月				1				2				3	3
7月			3		4		1	2				10	41
8月			1					1	1		1	4	5
9月			3				1				2	6	6
10月								1				1	2
11月			7					2			1	10	4
12月			3					1				4	6
合計			35	1	4	2	12	1			7	62	97
朝倉市			18	1	2	2	10	1			6	40	78
東峰村			3				1					4	8
筑前町			11		2		1				1	15	9
管外			3									3	2

発生場所別の出動件数

発生場所		火災		交通事故	水難事故	風雨等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外									
屋内	住居					2		9	1		1	13
	その他の屋内						2	1				3
屋外	道路			7								7
	その他の道路			28		1						29
水面	内水面				1						1	2
	外水面											
山岳											2	2
その他の屋外						1		2			3	6
地下												
その他												
合計				35	1	4	2	12	1		7	62

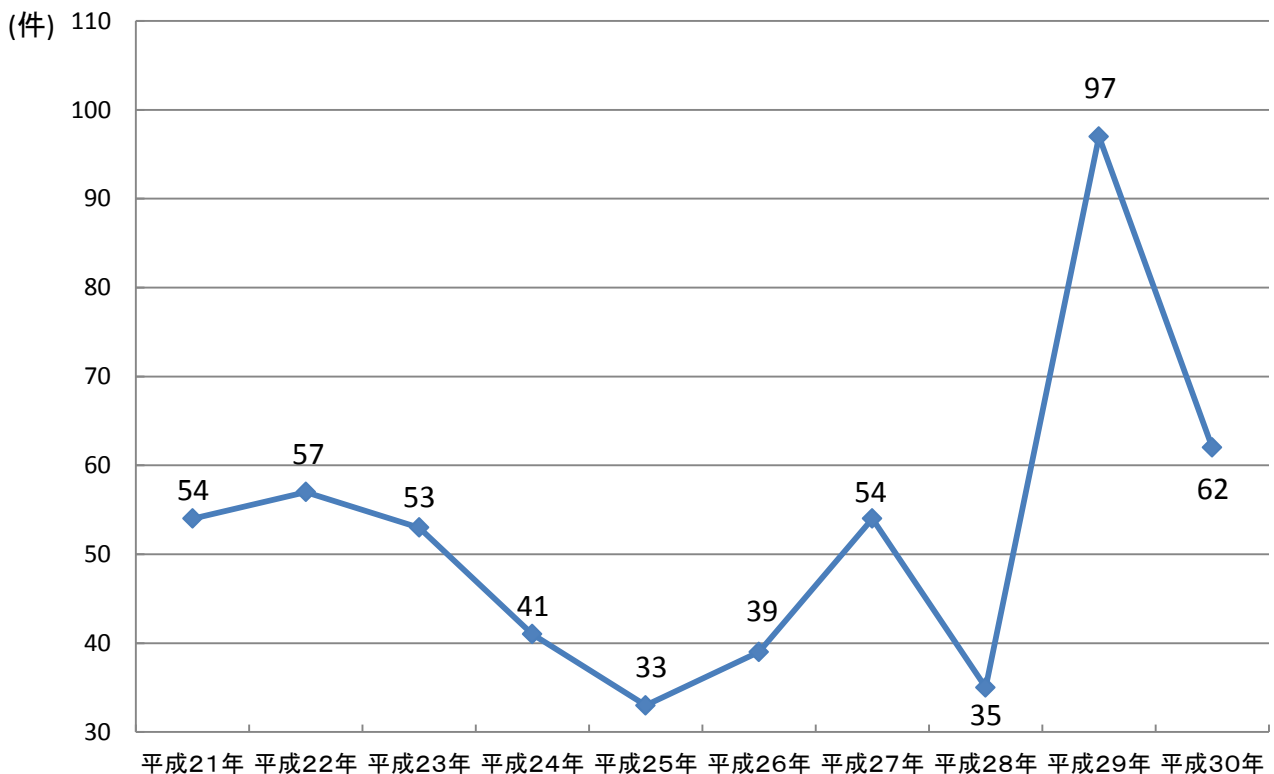
事故種別出動件数比率



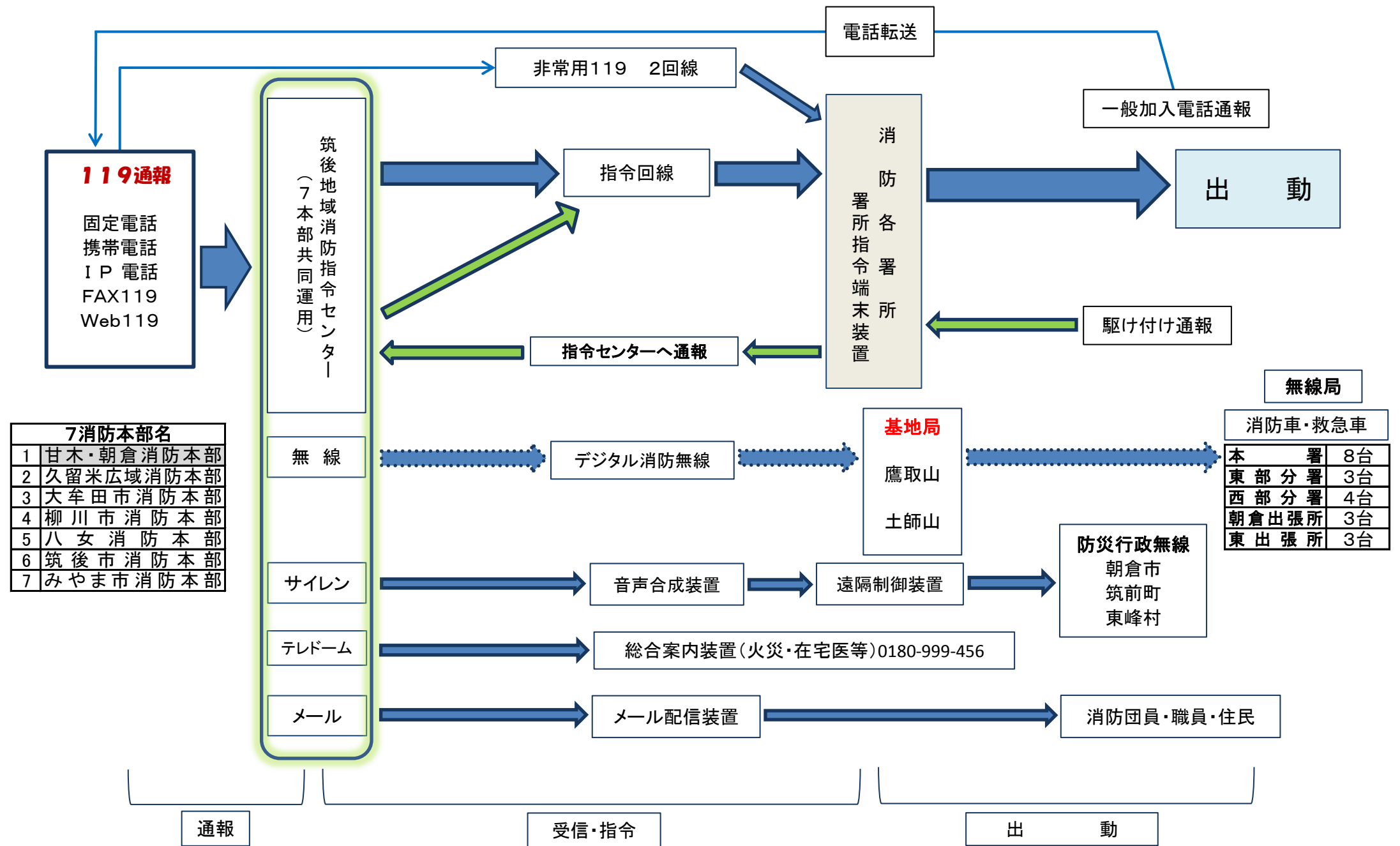
出動人員、活動人員

項目		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 然 災 害 等	機 械 事 故	よ り 建 物 等 に 故	よ り 建 物 等 に 故	ガ ス 欠 事 故 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外											
出 動 人 員	救 助 隊 員			142	3	12	8	47	4				26	242
	消 防 隊 員			145	5	18	4	36	2				32	242
	救 急 隊 員			153	3	6	6	36	3				19	226
	消 防 団 員													
	合 計			440	11	36	18	119	9				77	710
活 動 人 員	救 助 隊 員			40		8	4	20	4				8	84
	消 防 隊 員			52		6	2	13	2				17	92
	救 急 隊 員			42		3	3	12	3				13	76
	消 防 団 員													
	合 計			134		17	9	45	9				38	252

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	8	5	20	8	4	13	15	4	1	8		89
救急 救助	432	372	360	285	327	290	439	399	321	332	339	382	4,278
その他 災害	9	8	11	10	16	11	29	9	13	6	12	9	143
合計	444	388	376	315	351	305	481	423	338	339	359	391	4,510

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市	筑前町	東峰村	合計
	739	364	55	1,158

医療機関案内状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	9	6	5	5	6	4	6	10	5	2	4	11	73
外科	4	1	7	8	11	4	7	7	2	4	3	3	61
小児科	1		1	2	5	2	1		2	1	1	2	18
特殊科	1	2	1	5	2	4	2	3	2	3	1	1	27
合計	15	9	14	20	24	14	16	20	11	10	9	17	179